



発行所 福島県会津若松市栄町
会津若松市役所
編集兼発行人 丸山太郎
定価 5.00
1月号



大会津若松市の新しい歴史を築く

会津若松市長 村井八郎

年頭の辞

市民の皆様、明けましておめでとう御座います。昭和二十九年には、本市は、戦災の罹り、災害をはじめ直接に、或いは間接に色々の被害を被りましたが、皆協力の絶大なる御支援と御協力によりまして市の発展的建設と市民各位の福祉の増進には、些かの滞りもなく本日のこの意義深い新年を大いに希望に満ちて迎えましたことに對し、私は深い感激を以て厚く感謝申し上げます。私共は本日より天下晴れて、名実共に大会津若松市としての歴史を築きあげて参るわけであり、私共は、終戦以来十年、大会津若松市としての発展に輝く年頭に當り、本市の栄光を、市民各位のより幸福へのおかきになる場合は注意して下さい。

旧村の呼稱が變りました

本年一月一日より新たに発足した会津若松市の旧各町の呼称がこの度決定致しました。

旧来は「北会津郡××村大字××字××番地」となっており、新市に合併されたので「会津若松市××(旧村名)の場合同じ」字××(旧村の場合同じ)番地」となります。

例えば「会津若松市東山一丁目九番地」の如くなり、郵便その他住所をおかきになる場合は注意して下さい。

任期最後の御奉公 大会津若松市飛躍の年

市議会議長 五十嵐豊作

新年に際して

私共議員に選ばれたら、市政に参画して、早や任期も僅かとなり、今春四月は改選に當り、いよいよ最後の御奉公をなすべき年を迎えることになりました。今年こそは近村合併によって、大会津若松市建設計画が打ち建てられ、文字通り吾が会津若松市として一大飛躍の年であり、吾々議員も、議員に課せられた職責の重大さを深く痛感致すものであります。改選に當り、願ひまするときは、議長に就任の年頭に當り、「民主主義の確立」として、市民が齊しく希望する「市民のための政治の実現」を強調致し、又、本年度の市政に望んで、電源地帯のセンター「会津若松市」として、「電源都市建設」を希望に描き構想から実現化へ邁進せんことをお誓い申し上げます。

力となる低廉・豊富な電力を地元において確保することがあるため、既に市議会を中心として、既に金地域差設定促進同盟「会」の運動態勢を強化し、これが実現運動に全力を注ぐ。

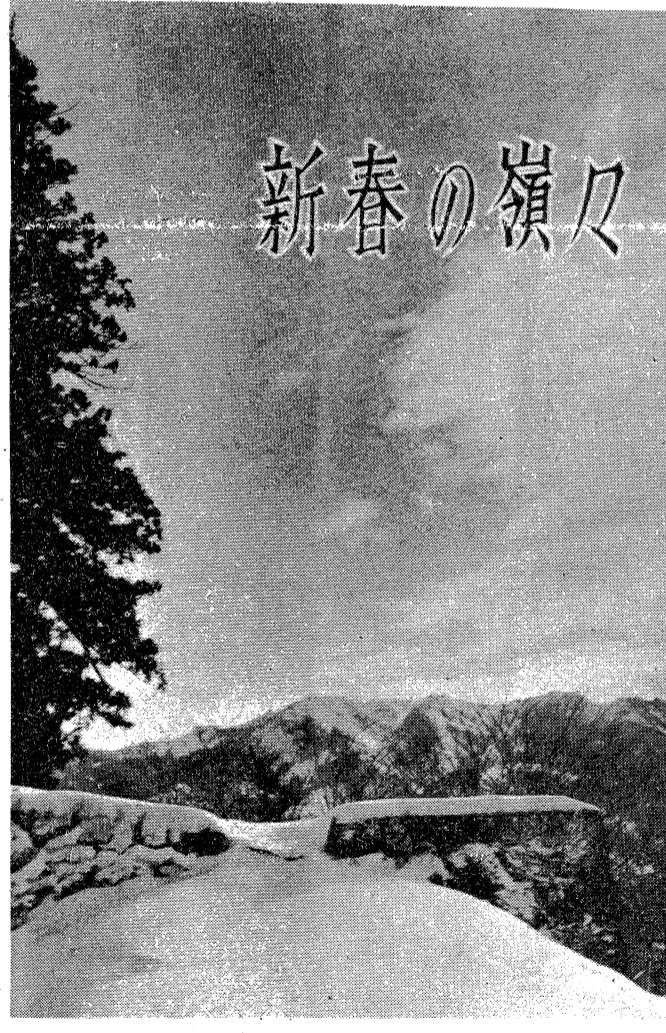
村合併後の農業気象測候所の施設並びに機構の拡充強化を図る。
市街の発展策
大会津若松市の支関である。駅前広場の拡張、商店街建設計画の履行を期すると共に市街地の舗装、社会労働対策
都市計画事業並びに近村合併後の農地改良事業を起し、労働救済策を講ずる。

以上が重点的施策に對する議会活動の概要であります。幸にして私は現在、下の市議會議長としての職に在り、又東北並に全国市議會議長会の理事も兼ねておるため、これらの諸問題は地方自治発展に資する諸施策として、強く中央に反映させ、これを運動を推進し、実現を期す決心を致しております。

ここに市民各位の御理解ある御協力を御願ひ申し上げ、新年の御挨拶と致します。



新春の嶺々



賀正																																					
市 長	村 井 八 郎	助 役	丸 山 太 郎	收 入 役	鈴 木 英 一 郎	総 務 課 長	菊 地 義 雄	商 工 課 長	久 力 市 郎	工 務 課 長	君 島 與 一	農 政 課 長	須 藤 末 藏	衛 生 課 長	佐 藤 榮	水 道 課 長	田 中 竹 雄	福 祉 事 務 所 長	渡 部 正	町 北 支 所 長	中 條 直	湊 支 所 長	渡 部 彌 億	一 箕 支 所 長	鈴 木 正 行	高 野 支 所 長	吉 田 虎 市	神 指 支 所 長	佐 藤 孫 一	門 田 支 所 長	宮 島 緑	大 戸 支 所 長	白 岩 常 明	東 山 支 所 長	佐 藤 武 夫	外 職 員	一 同

